

公共工事の計画から完成まで



僕は、工事を発注する建設管理部の担当者（工事監督員）の『監督一郎』です。北海道建設部及び建設管理部が行う公共工事が、どのような流れで行われているかを簡単に説明するね！

『予定価格』とは、工事を行う場合の標準的な価格のことで、発注者が様々な資料を基に算出するんだよ！

① 計画・設計

② 予定価格の算出



③ 入札・契約

実際に段階確認をしている様子だよ！『鉄筋は設計図どおりに配置されているかな～？』

入札を行って、工事を施工する会社（受注者）が決まるんだよ！

段階確認



写真提供：札幌建設管理部

工事がきちんと行われているかどうかを発注者の工事監督員は、段階的に確認するんだ！これを「段階確認」と呼んでいて、あとで見えなくなる部分や重要な部分を重点的に確認するんだよ！



④ 工事の施工



⑤ 工事の完成

工事が完成すると、設計図どおりにできているかどうかの検査を受けます。検査に合格して初めて、本当の意味での工事の完成と言えます。

私は受注者の工事責任者（現場代理人）です。工事監督員の段階確認の他に、社内でも検査を行い、ミスの防止に努めています。

⑥ 検査・受渡し

無事、工事が完成しました。あとは発注者の検査を待つばかり。



書類検査



私が検査員です。

現場検査



発注者の検査員が検査を行うんだよ。検査は現場で寸法や出来映えを確認する現場検査のほかに、見えなくなった部分や工事の状況を写真や書類で確認する書類検査があるんだよ！

写真提供：旭川建設管理部